

# 令和5年度 社会福祉法人 播磨福祉会 みらい保育園 保育士自己評価

令和6年3月実施

本園では、保育の質の向上を図るため、保育士の自己評価を行いました。総合評価に基づき、本園の自己評価を本園の自己評価を行いましたので、情報を公開いたします。

※各保育士による自己評価を基に、総合的な結果をだし、評価の低かった点については、改善策を話し合い、共通理解のもと改善に努めます。

## 【保育士自己評価】

各項目ごとに評価の回答数を合計して、記載しています。

対象・・・保育士16名（設問によっては対象人数がことなる場合があります）

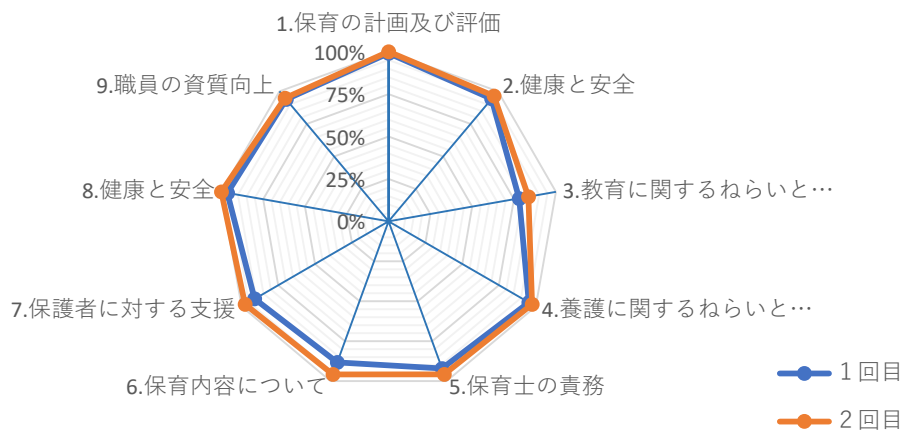
※評価対象の保育士人数は、16名で行ったが、設問の内容により無回答も含め、回答総数が異なる場合があります。今回の評価結果を踏まえ、振り返りを行うことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り、保育の質を向上させるとともに今後、さらに豊かな保育を展開していくために活用していきます。

A：よくできた B：できた C：できなかった

## ◎評価結果（対象：保育士）

※よくできた・できたの割合

項目	1回目	2回目
1.保育の計画及び評価	99%	100%
2.健康と安全	94%	96%
3.教育に関するねらいと内容	78%	84%
4.養護に関するねらいと内容	95%	98%
5.保育士の責務	92%	96%
6.保育内容について	88%	96%
7.保護者に対する支援	91%	98%
8.健康と安全	96%	100%
9.職員の資質向上	94%	95%



## ●総評

教育に関するねらいと内容については、今年度は近隣の介護施設と交流を試みた。職員も園児も高齢者の方と交流を持つことで、まなぶことも多々あったと感じている。来年度も継続して行っていく予定である。

ただ、近隣に公共施設がないため、社会体験をどのような形で実施していくか再考する必要があると考える。

保育内容については、職員間の声掛けや研修で得た知識の共有により「できなかった」から「できた」と

評価が向上したと考える。今後もコミュニケーションを円滑に進め、よりよい保育を目指していきたいと考える。